

科目	人文科学特講 (Human Science)		
担当教員	ピレッジ 准教授、今里 典子 教授		
対象学年等	全学科・5年・通年・選択・2単位 (学修単位I)		
学習・教育目標	C3(80%), D2(20%)	JABEE基準	(a),(b)
授業の概要と方針	A) アメリカ文化を紹介し英会話技術向上の為バラエティーに富む活動を行う.様々な技術を活用し,グローバルシンキングを培い,研究手段としての英語表現力向上も目指す .B) 言語学の基礎を踏まえ,日本手話(JSL)構造と聾者への理解を深め,工学技術の福祉分野への貢献可能性にも触れる.基本的JSL表現能力習得も目指す.		
	到達目標	達成度	到達目標別の評価方法と基準
1	【C3】A) アメリカの文化の諸相ををより良く理解し,新たな発想を表現できる.		A) アメリカの文化の諸相を理解し新たな発想を表現できるかを,中間試験・定期試験,演習で評価する.
2	【C3】A) グローバルシンキングをテクノロジーを通してより深く理解できる.		A) 授業中の質疑・応答を通して,各学生のグローバルシンキングの理解度を評価する.
3	【C3】A) テクノロジーを使って研究手段としての英語表現力を高める.		A) テクノロジーを使って研究手段としての英語表現力を高める事ができたかを演習で評価する.
4	【D2】A) 英会話力を上達させる.		A) 英会話力を上達させることができたかどうかを,中間試験・定期試験,演習で評価する.
5	【C3】B) 日本手話が独立した言語であることを言語学の視点から説明できる.		B) 日本手話が独立した言語であることを言語学の視点から説明できるかどうかを定期試験・レポートで評価する.
6	【C3】B) 手話話者である聾者について説明できる.		B) 手話話者である聾者について説明できるかどうかを定期試験・レポートで評価する.
7	【C3】B) 工学技術が福祉分野に貢献する可能性について議論できる.		B) 工学技術が福祉分野に貢献する可能性について議論できるかどうかを定期試験・レポートで評価する.
8	【D2】B) 基本的な日本手話を使って基礎的なコミュニケーションができる.		B) 基本的な日本手話を使って基礎的なコミュニケーションができるかどうかを定期試験・演習で評価する.
9			
10			
総合評価	成績は,試験30% プレゼンテーション15% 演習40% プロジェクト15% として評価する.A)の成績は以上の通り. B)の成績は,試験40% レポート40% 演習20% として評価する. 両科目とも100点満点で60点以上を合格とする.		
テキスト	A) プリント B) ノート講義		
参考書			
関連科目	A) 本科目はこれ以外の英語科が開講する全ての科目に関連する.B) 本科目は該当無し.		
履修上の注意事項	A) 英和・和英辞書(電子辞書含む)を準備すること.B) 授業では積極的に質問・発言する事が求められる.必ず基本的手話表現を習得する必要がある.また倫理上の問題にも留意する事.		

授業計画(人文科学特講)

	テーマ	内容(目標・準備など)
1	Introduction to the course	Overview of the course - Assessment of students' English proficiency
2	English Conversation and American Culture (1)	Self introductions, American greeting styles and language
3	Technology and studying English (1)	Introduction of technology useful when studying English as a second language
4	Global thinking and technology (1)	Introduce global thinking, global topics, using technology.
5	English Conversation and American Culture (2)	Focus on conversation skill building and American culture. Introduce ESL Card games.
6	Technology and studying English (2)	Discuss using technology to develop self-study tools.
7	Global thinking and technology (2)	Discuss using technology and English to interact on a global scale. Social media and Online gaming.
8	中間試験	Midterm test and assessment
9	English Conversation and American Culture (3)	Introduce American Culture and Conversation techniques through video.
10	Technology and studying English (3)	Brainstorming on new ESL language game ideas and tools to make them
11	Global thinking and technology (3)	Use technology to find out how other countries' college students live.
12	English Conversation and American Culture (4)	Conversation skills for debate, opinions and refusals
13	Technology and studying English (4)	Start to develop ESL original language game in groups.
14	Global thinking and technology (4)	Using technology to help in the development of study tools and continuation of group project
15	Group presentation	ESL language game development process presented to other groups for ideas and self-assessment, Review for end of semester assessment.
16	English Conversation and American Culture (5)	Introduction of different American popular tourist destinations and travel English
17	Technology and studying English (5)	Group ESL Language game final edits check
18	Global thinking and technology (5)	Introduction of presentation techniques and TED talks video
19	English Conversation and American Culture (6)	Presentation English and body language
20	Technology and studying English (6)	Tech skills for creating interesting PowerPoint presentations
21	Global thinking and technology (6)	TED talks video for presentation creating inspiration
22	Group project final adjustments	Students introduce ESL game to other groups and learn to use each language tool
23	Group Project Evaluation	Instead of midterm test, Group project will be evaluated by the teacher and peers
24	English Conversation and American Culture (7)	Group presentation brainstorming and script writing - Pecha Kucha format
25	Technology and studying English (7)	Powerpoint editing and advanced techniques
26	Global thinking and technology (7)	TED talks video for presentation creating inspiration
27	English Conversation and American Culture (8)	Script editing and peer/group/self assessment explanation - Pecha Kucha format
28	Technology and studying English (8)	Final - Pecha Kucha presentation project tech editing
29	Final individual (Pecha Kucha) presentations (1)	Final - Pecha Kucha Powerpoint Presentations in English with peer - assessment
30	Final individual (Pecha Kucha) presentations (2)	Final - Pecha Kucha Powerpoint Presentations in English with peer - assessment
備考	前期中間試験および前期定期試験を実施する。	

授業計画（人文科学特講 手話言語学）

	テーマ	内容(目標、準備など)
1	イントロダクション	手話学習の注意事項説明, アンケートの実施. 手話単語と指文字の違いについて学習する.
2	世界の言語	世界に存在している様々な言語の現状について学習する. 指文字1+JSL語彙1
3	言語の定義	コミュニケーションの様々な手段のうち「言語」は他の手段とどのように異なり, いかに定義されるのかを学習する. 指文字2+JSL語彙2
4	ノンバーバルコミュニケーション	音声言語とともに現れるノンバーバルコミュニケーション手段について学習する. 指文字3+JSL語彙3
5	音声学	音声言語における発声と聞こえのメカニズムを学習する. 指文字4+JSL語彙4
6	手話言語の発生	手話言語がどのように生まれたのかその発生のプロセスと, JSLの歴史を学ぶ. 指文字5+JSL語彙5
7	手話言語の習得	聾児の手話習得プロセスについて学習する. 指文字6+JSL語彙6
8	手話表現と指文字まとめ	ここまで学習した手話表現と指文字について理解しているかどうか確認を行う.
9	手話言語の記述法	手話言語の記述法について学習する. +手話表現1
10	音韻論	ASLで見られる音韻ルールを紹介したうえで, JSLの音韻について学習する. +手話表現2
11	形態論	JSLがどのような形態の構造を持っているかを学習する. +手話表現3
12	統語論1	JSLの文法について学習する. (CL, 動詞分類, 語順)+手話表現4
13	統語論2	JSLの文法について学習する. (NMM, AUX)+手話表現5
14	手話表現まとめ1	前期に学んだ手話表現を復習する.
15	レポート講評会	レポートの講評を行い, それぞれが内容について改善し提出する.
16	レポート発表会1	レポートの内容をプレゼンテーションする. (前半)
17	レポート発表会2	レポートの内容をプレゼンテーションする. (後半)
18	意味論	JSLの意味について学習する. +手話表現6
19	語用論	JSLの語用について学習する. +手話表現7
20	手話失語	手話の失語について学習する. +手話表現8
21	聾文化	聾者の文化について学習する. +手話表現9
22	手話言語教育	世界と日本の手話教育について学習する. +手話表現10
23	手話表現まとめ2	後期に学習した手話表現について復習を行う.
24	情報保障1	情報保障の一般的な方法について学習する. +手話表現11
25	情報保障2	情報保障の技術について学習する. +手話表現12
26	情報保障3	情報保障と災害について学習する. +手話表現13
27	手話演習1	JSLを使用したコミュニケーションの演習を行う. 自分の意見を発表する練習.
28	手話演習2	JSLを使用したコミュニケーションの演習を行う. Q&Aの練習.
29	手話演習3	JSLを使用したコミュニケーションの演習を行う. グループトークの練習.
30	まとめ	ここまで学んだ事を正しく説明できるかを確認する.
備考	後期定期試験を実施する.	